京都府学年別選手権水泳競技大会　二次要項

（一社）京都水泳協会競技委員会

1．新型コロナウイルス、インフルエンザ等感染症対策について
（1）当日体調がすぐれない場合は来館しないこと。
（2）会場アリーナ内および控え場所への入場は出場する選手、引率責任者および学校が認めた
コーチ、競技役員のみ許可する。
（3）保護者等一般来場者の入場及び応援は、2階観客席のみ認める。
※一般来場者入場は競技開始30分前（9時00分）から順次行う。開場までは2階メインエントランス入口の外・自動ドア右側（建物側）付近（中央には選手が待機）に1列で待機のこと。
選手入場後は館内2階メインエントランス左側（エレベーター付近）に1列で待機のこと。

2．競技について
（1）本競技会は、2024年度公益財団法人日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
（2）競技進行は、原則タイムスケジュールに従って行う。
（3）全競技、タイムレース決勝方式にて実施する。
（4）全競技、8レーンで行う。
（5）招集は、競技開始20分前から行う。
（6）競技を棄権する場合は、所定の届出用紙にて当日午前9時30分までに大会本部に届け出ること。
（7）競技中、レーン紹介は行わない。
（8）スタートは、スタート台上、スタート台右横、水中（壁またはグリップをもち、両足は壁につけた状態）のいずれかから1つとする。
（9）ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチすること。
（10）小学生高学年（小学4年生）以上の自由形・平泳ぎ・バタフライ・個人メドレー各種目は、オーバーザトップ方式を採用する。 ※小学生低学年（小学1～3年生）はレース終了後、プールから上がってから次競技を行う。
（11）背泳ぎにおいて、小学生低学年はバックストロークレッジを使用することができる。小学生高学年（小学4年生）以上は原則設置する。
（12）競技成立後は、自レーンより退水すること。
（13）本大会は SEIKO システムを使用する。詳細については、「9．SEIKO システムについて」を参照すること。

3．表彰について
（1）表彰式は各競技学年別で1位を対象に実施する。
（2）各競技学年別で1位の入賞者には、賞状と副賞のメダルを授与する。
（3）賞状・副賞の受け取りは、競技終了後、大会本部後方（ウォータースライダー付近）で行う。

4．全体スケジュール
（1）全体の競技予定時間は以下の通りとする。

日時	区分	出場選手 入場時間	W-up	公式スタート （全レーン）	競技 開始時刻	競技終了 予定時刻	閉門時刻 （予定）
3 月 9 日（日）	1班	7 時 10 分	7:30～8:20	8 時 00 分	9 時 30 分	16 時 40 分	17 時 30 分
	2班	7 時 10 分	8:25～9:15	8 時 55 分			

①ウォーミングアップは2班に分けて行う。
②1班と2班の入れ替えを行う。1班は8時20分に全員プールよりあがること。
③場所取りは全チームを対象として行う。場所取り入場後、すみやかに開場（選手入場）する。
（2）競技役員主任会議、控え場所の場所取り入場時刻は以下の通りとする。

日時	場所取り 入場	競技役員 受付	競技役員 主任会議	競技役員 全体会議	競技役員 パート別会議	メドレーリレー オーダー締切	フリーリレー オーダー締切
3 月 9 日（日）	7 時 00 分	8 時 00 分	8 時 15 分	8 時 30 分	8 時 45 分	なし	なし

（3）開門に先立ち、控え場所の場所取りは各チーム代表者（コーチ等）1名のみ、2階正面入口（阪急西京極駅方面のスロープ側）からの整列入場を行う。なお、入場整理員の指示には必ず従うこと。

※入場前はスロープ付近が競技役員用駐車場となるため、競技役員より待機者用整列場所を適宜指示する。

5. プールの使用について

（1）25m短水路プール

①水深は1．4mに設定する。

②練習は各班の指定時刻までとする。

③各レーンのスタート台右側から入水せず、左側より足から入水すること。

④常設のダッシュレーンは設定しない。公式スタート練習は、所定時刻よりスタート側からの一方通行にて実施する。

※1レーンは、一定時刻（会場で通告する）まで小学1・2年生専用利用とする。

※公式スタート開始時は、全レーンにて実施する。

⑤ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。

⑥公式スタート練習は、公式スタート開始予定時刻より20分間とする。

6. 会場の使用について

（1）選手控え所は、2階選手控所（区分け内）、1階スタジオおよびスタジオ横通路、1階プールギャラリーとする。1階ウッドデッキを招集所とする。控え場所については以下の通り指定する。

2階エントランス左側（エレベーター前）	2階エントランス右側（長水路プール入口側）	1階プールギャラリー（エレベーター前）	1階スタジオ
スイトピア、アクオン、京都踏水会、ACE 計4チーム	アテイン京都、イトマン京都、コパン宇治、ｺﾊﾟﾝｻﾝﾀｳﾝ、長岡S・S、CST 計6チーム	HOS OGURA、サンスポーツ、星の子SS、ｾﾝﾄﾗﾙ太秦、京都YMCA、京都イリアス、PAO LAB、一般出場（個別申込団体） 計8チーム	洛星中学、立命館中学校、ﾙﾈｻﾝｽ山科、城陽SS、洛北高附属中、大山崎中、西京附属中、大淀中、上京中、二条中、修学院中、洛北中、加茂川中、嵯峨中、桂川中 計15チーム
W-up ： 1班	**W-up ： 2班**	**W-up ： 2班**	**W-up ： 1班**

※控え場所は譲り合って使用すること。

（2）1レーン側プールサイドにコーチ席を設置する（各チーム2名までとする）。コーチング終了後、選手はすみやかに控え場所に戻ること。

※上記内容に従わないチームは、該当チーム関係者のコーチ席立ち入りを禁止する。

（3）プールサイドは、**靴底が白い上履き（スリッパを含む）に限り使用を許可**する。大会役員・競技役員および引率責任者、コーチ（19 歳以上に限る）の他、選手も対象とする。※**外靴の使用は厳禁**とする。

（4）選手・付添エリアには、一般は立ち入ることができない。

（5）更衣室のロッカーの使用はできない。控え場所としての使用及び飲食は禁止する。

（6）更衣室の荷物は、競技終了後は必ず持ち帰ること。

※置き荷物は、忘れ物として扱う。（忘れ物は、大会本部にて一定期間保管する。）

（7）会場設置のコンセントの使用を禁止する。使用が判明した場合、該当使用機材を没収する。

（8）会場のゴミ箱を使用せず、各自持ち帰って処理すること。

（9）大会終了後、使用した控所の清掃にご協力ください。なお、全体の後片付けにあたっていないチームは、自団体控所の清掃終了後、すみやかに退出すること。

（10）大会終了後、館外でのミーティングは禁止する。

（11）京都アクアリーナの営業開始時間（9：00）より前の、1階フロアへの立ち入りとその階のトイレの使用並びにエレベーターの使用を禁止する。同時間までのトイレは、選手はサブプールにあるトイレを使用すること。

7. 注意事項

（1）盗難防止のため、貴重品の保管については、各選手・監督の責任において管理すること。

（2）競技役員用の駐車場は、競技役員として出席し、事前に許可された関係車両のみとする。なお、駐車の際は駐車許可証を外部より確認できる位置に置くことを条件とする。駐車許可証のない車両があった場合は、当該関係団体への指導を行う。　※出場団体のバスでの来場・駐車については認めない。

（3）会場におけるトラブルが発生した場合、当該者の関係所属団体先を確認の上、当該引率責任者による事後対応を行うこと。

8. 保護者等への注意事項の連絡について
（1）出場団体の責任者は、以下の点を事前に選手・保護者等に連絡すること。
①駐車台数に制限があるため、公共交通機関を利用しての来場を促すこと。
京都アクアリーナ周辺に違法駐車される事例が報告されているため、これが判明した場合、競技を止めることもある。
②選手送迎に関する「京都アクアリーナを使用する競技会での送迎等について」を事前に確認すること。
③ハンカチ、手荷物などでの席の場所取りは禁止とする（立ち見ゾーンを含む）。
④危険防止のため、2階観客席前方の透明フェンスにもたれかかっての観戦を禁止すること。
⑤当日、自動車等で会場周辺に駐車して待機しないこと。
⑥フラッシュによる撮影はスタート信号との混同により競技に支障をきたすため、禁止とする。
（2）盗撮、不審者対応について
近年、各種競技大会において日本水泳連盟や京都水泳協会の目的を逸脱した営利目的・わいせつ目的等によるビデオ・写真などの撮影が行われ、インターネット・雑誌その他の媒体に掲載、販売される事態が散見されております。京都水泳協会としましては、競技大会の円滑な運営と選手保護・育成のため、撮影に関する一定のルールを設けております。
①撮影対象が競技会方針と異なると思われる場合は、記録内容の確認を求めることとする。
事案によっては、警察に引き継ぐこともある。
②不審と思われる行為を受けたり、見かけたりした場合は、近くの競技役員まで申し出て下さい。

9. SEIKO システムについて
（1）SEIKO 社の全自動計時システムをタッチ板・スタート台等で使用する。
（2）スタート台の斜角度は10°とする。
（3）スタート台にはスターティングブロックを設置する。本大会はスターティングブロックの調整を許可する。
なお、使用にあたっては各自の責任において調整すること。
（4）スターティングブロック部分の固定は確実に行うこと。固定せずに使用して破損した場合は、実費相当額を負担すること。
（5）本大会は、バックストロークレッジの使用を認める。使用する場合は、各レーンの競技役員に申し出ること。

10. 結果速報について
（1）本大会では、超速システムを運用する。
（2）本大会はリアルタイム動画配信システム（YouTube Live）の配信を行わない。

11. 引率責任者、競技役員への連絡事項
（1）会場準備のための入場および競技役員用駐車場への入場は、6時30分以降とする。それ以前に周辺道路で待機しないこと。
（2）長水路・短水路プール間～北側スロープ（阪急西京極駅方面スロープ）の部分とする。
※スロープ走行時は歩行者の飛び出しに注意し、最徐行すること（特に屋上付近は見通しが悪いため注意すること）。
（3）場所の関係上、車両台数に制限があるため、駐車許可証を提示した車両のみ許可する。駐車許可証を掲示しない車両は駐車を認めない。
※駐車許可証は、京都水泳協会、京都府中・高体連水泳専門部が発行する本年度有効の許可証とする。
なお、台数制限があるため、入り口にて担当者が不許可とする場合もあります。
※許可対象は競技役員のため、引率責任者の駐車場利用は認めない。
（4）一般出場の引率者には、場所取り入場時にIDカードを配付する。常時着用すること。
退場の際には、受付にて返却すること。

上記項目についての選手への事前指導、保護者の方への事前連絡について、各チームの代表者・引率責任者・担当者が責任をもって周知徹底すること。
なお、使用状態が悪い場合、今後の会場使用ができなくなることもある。十分に注意すること。

以 上